

令和2年10月30日

令和2年度 第2回全国健康保険協会福岡支部評議会

資料4

令和3年度 福岡支部
保険者機能強化予算（案）について

1. 令和3年度福岡支部保険者機能強化予算（案）

1. 支部保険者機能強化予算の区分等

予算区分		分野	支部予算枠 (千円)
支部保険者機能強化予算	支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	31,250
		②広報・意見発信経費	
	支部保健事業予算	③健診経費	187,600
		④保健指導経費	
		⑤重症化予防事業経費	
		⑥コラボヘルス事業経費	
		⑦その他の経費	
合 計			218,850

2. 支部医療費適正化等予算

分野	事業名	経費 (千円)
①医療費適正化対策経費	事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勧奨業務委託	8,470 (8,909)
	福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市との共同によるメンタルヘルス対策セミナー開催	342 (342)
	薬剤師会と連携した医薬品適正使用促進事業 (令和2年度はパイロット事業として実施)	5,060 (0)
②広報・意見発信経費	協会けんぽ「かべ新聞コンクール」 (拡大)	9,680 (7,700)
	紙媒体による広報 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所向けチラシ ・任意継続等制度周知パンフレット ・「協会けんぽのサービス一覧」作成 ・年金事務所主催算定説明会資料作成 ・年金事務所主催年金委員研修会資料作成 ・メールマガジン配信に関する広報(任継)/(被扶養者) ・社会保険ふくおかへの同封チラシ作成及び同封手数料 ・無資格受診発生の未然防止ポスターの作成 	7,669 (8,720)
合 計		31,221 (25,671)

※ () 内は同事業における前年度(令和2年度)の予算になります。

1. 令和3年度福岡支部保険者機能強化予算（案）

3. 支部保健事業予算

分野	事業名	経費（千円）
③健診経費	事業者健診HbA1c追加検査費	528 (528)
	健診予定者名簿送料	40 (1,400)
	健診実施機関実地指導旅費	300 (300)
	集団健診	32,560 (26,598)
	事業者健診の結果データの取得	42,004 (42,386)
	健診受診勧奨等経費	17,059 (23,698)
④保健指導経費	保健指導機関委託費（システム対応できない分）	843 (337)
	中間評価時の血液検査費	9,900 (6,600)
	保健指導用データ等送料	1,400 (1,440)
	保健指導用パンフレット作成等経費	130 (155)
	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	450 (400)
	保健指導用図書購入費	159 (120)
	保健指導推進経費	3,807 (3,881)
⑤重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	41,396 (46,338)
	重症化予防対策	12,252 (10,543)
⑥コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業（情報提供ツール含む）（拡大）	12,712 (4,356)
⑦その他の経費	その他の保健事業（新規を含む）	7,045 (9,894)
合 計		182,585 (183,726)

※（ ）内は同事業における前年度（令和2年度）の予算になります。

※令和2年度の合計は、「保健指導利用勧奨経費」4,752千円を含む。（令和3年度は計上なし）

1. 令和3年度福岡支部保険者機能強化予算（案）

4. 令和3年度新規事業等の概要

項目	事業名	取組概要	経費（千円）
1	協会けんぽ「かべ新聞コンクール」 （拡大）	将来の健康保険制度を担う次世代層の小学校5年生（福岡県内全域）を対象に、医療費や健康づくりをテーマとした「かべ新聞コンクール」を実施する。教育委員会の後援により学校の授業等で取り上げてもらうとともに、家族ぐるみでも健康や医療費について考えるきっかけを作り、医療費適正化及び協会けんぽの認知度向上を図る。	9,680 (7,700)
2	薬剤師会と連携した医薬品適正使用促進事業 （令和2年度パイロット事業として実施）	同一薬局において、同一薬効の医薬品を重複して調剤している場合に、重複調剤（服薬）の適正化を図るため、薬局へ調剤状況等について情報提供（通知）し、薬局薬剤師による服薬状況の確認を促す。	5,060 (0)
3	コラボヘルス事業 （情報提供ツール含む） （拡大）	加入者の健康増進及び医療費の適正化を図り、事業所の活性化や保険料率上昇の抑制等につなげるため、健康宣言事業所の拡大とともに、事業所における健康づくりの取組みのさらなる推進を図る。	12,712 (4,356)
4	COVID-19緊急事態宣言下における中小企業労働者の医療と健康への影響 （新規）	レセプト情報と健診データを用いて、緊急事態宣言下における加入者の受診行動及び健康への影響を分析する。	1,100 (-)
合 計			28,552

※（ ）内は同事業における前年度（令和2年度）の予算になります。

- 項目1：募集対象を「福岡市内の小学校5・6年生」から「福岡県内全域の小学校5年生」に変更し対象者を拡大。
- 項目2：令和2年度パイロット事業として本部予算（5,036千円）にて実施。
- 項目3：未宣言事業所への「事業所カルテ」^(※)の提供拡大（宣言の勧奨）、健康宣言インセンティブの向上（健康測定機器の貸与）にかかる経費を新たに追加。事業所における健康意識の醸成を図り、コラボヘルス事業のさらなる推進。（未宣言事業所 → 宣言実施へ）
※医療費や健診データにより事業所の健康度を見える化したもの。宣言事業所の特典として活用。
- 項目4：令和3年度支部調査研究事業として応募したが、不採用となったため、支部独自事業として実施。共同研究を想定しており、レセプトデータ等の匿名加工にかかる経費を計上。